

学校法人 東放学園

東放学園映画専門学校 殿

## 2021年度 学校関係者評価報告書

東放学園映画専門学校  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員

#### 【学校運営に関する有識者・委員長】

月野木 隆行 学校法人東放学園 元理事  
学校法人東放学園 東放学園専門学校 元学校長  
学校法人東放学園 東放学園映画専門学校 元学校長

#### 【関連業界】

大和 靖典 アオイスタジオ(株) スタジオ技術部 ポストプロダクションマネージャー

#### 【高校教員】

阿藤 庸泰 私立東亜学園高等学校 教諭 進路指導部 主事

#### 【卒業生】

芦塚 明子 デジタル映画科 卒業生 (株)スクーターフィルムズ 取締役・プロデューサー

### 2. 事務局

関谷 信浩 東放学園映画専門学校 学校長  
松島 司 副校長(教務教育部部長 兼務)  
蒲田 直樹 学務管理部 部長  
高橋 秀行 学務管理部 業務主任(進路指導担当/学校評価委員)

### 3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2021年 10月 9日(土) 17:00～19:00 東放学園映画専門学校 (Zoomオンラインミーティング)

### 4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

## 4. 学校関係者評価結果

### 【評定内容結果】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

### I. 2020年度重点目標について

#### 重点目標1 中途退学率を減少させる

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響があり、実習が上手く進まないということもだが、対策が必要だと思う。また留学生の中途退学率も気になる。</li> <li>・(留学生の中途退学率に関して事務局返答)昨年度留学生89名のうち10名が中途退学。理由は特に留学生だからというわけでは無く、日本人の退学理由と似ており、留学生特有の事情というのはあまり無い。</li> <li>・コロナの影響で大変だというのは聞いていたので、課題有りとして評価3にしているが、対策を行っていることが聞けて良かった。対面が良い授業とオンラインと相性が良い授業等あるのでメリハリつけていければ学生にもポジティブに捉えられると思う。</li> </ul>	3

#### 重点目標2 教職員の資質向上

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の質というのは、何をもって教職員の質というのか？</li> <li>・(教職員の質に関して事務局返答)教育力の向上。現状に満足せずに常に新しいスキルを取り入れていること。社会人としてのコンプライアンスや必要なスキル授業以外での質の向上だとイメージしているが、確かに何を持って研修に参加しているのかわからず研修に参加しているというのは感じる部分がある。</li> <li>・職業実践専門課程の条件で職員の研修があるが、だからというわけではなく今後も自己研鑽することが必要。</li> </ul>	3

### II. 評価項目別取組状況について

#### 基準1 教育理念・目的・育人人材像

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に即して流動的に、学科単位での目的というのを作って実践すると良いのでは無いか。</li> <li>・教職員・学生・保護者・関連業界への周知に関して不十分とのことだが、それはなぜか？ 文章化すれば良いというものではないのかなと思う。</li> <li>・学科によって教育方針は違ってくるのではないかと思う。挨拶の重要性を学園では指導しているが、学生の特性から浸透しづらい状況があるので引き続いての課題である。</li> <li>・インターン等で学生を預かった際、比較的無口な学生でもスタッフからの受けが良い学生もいるため、その多様性に合わせた指導が必要ではないか。</li> </ul>	3

#### 基準2 学校運営

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から「学生や業務のデータ等をクラウドサーバーを利用して管理するためには、万全なセキュリティ対策も併せて考えなければならない」とのご指摘を頂いた。その件に関しては学内で情報管理の委員会等があり、担当者がセキュリティ等の対応をしているが、やはり新規で導入するシステム等には戸惑いも感じられるので、今後も研修等含めて教職員のセキュリティ意識の向上に努めていきたい。</li> <li>・委員のご意見で書かれている「リスクマネジメントに対する取組みも明文化すべき(外部にアピールすべき)」という件に関して、内向きのリスク管理に関しては整備されているが、確かにそういった取組みを対外的にもう少しアピールするべきだと考えている。</li> </ul>	4

基準3 教育活動

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスどおりに行かないというのは学校として当たり前のところだと思うが、学生側がイメージできるものが必要かと思う。</li> <li>・コロナ禍における実習授業が気になっていたので評価3としたが、感染対策等しっかりとしているということをお聞きできたので良かった。</li> <li>・オンラインにおける授業では、海外や有名プロデューサー等の講義等に取り組みられているか。</li> <li>・(オンライン授業の活用について事務局返答)今までは校舎にご足労頂いて特別講義を行っていたところ、小説科等で石川県在住の作家さんの講義をオンラインで開催するなど、オンラインによって幅は広がっている。</li> <li>・(オンライン授業の活用について事務局返答)多田学さん(VFXクリエイター)の講義などはニュージーランドからZoomを繋げて開催。また企業説明会等では福岡の制作会社の説明会を開催した。</li> </ul>	4

基準4 学修成果

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画業界の話をお伺いした時にフリーランスという雇用形態に関して話があったが、学生が本当にフリーという働き方に関して理解しているように説明されているか。</li> <li>・(フリーランスに関して事務局返答)進路系の授業の中で、フリーランスという働き方について説明している。それにはリスクがあるという話をしており、特に税金や社会保険に関して、税理士や年金事務所の協力のもと特別講座等を行っている。</li> <li>・受け入れ側の企業としても、コロナ禍でインターンシップ等行うことができず、応募者を見極めるための新たな受け入れ体制を構築する必要があると思っている。</li> </ul>	4

基準5 学生支援

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画校の支援は非常に難しいと考えている。特に就職に関しては映画科や小説科等フリーランスやデビュー等の進路支援を行わなくてはならず、就社だけではない部分の対応は難しい。</li> <li>・学校側として学生へ夢を与えなくてはならないということと、カリキュラム等に現実的な就職を目指すような授業を入れなくてはならないという部分がどうしても矛盾してしまうことが課題と考えている。</li> <li>・内面的に深く醸成したものを、どこかで外に表現していかなくてはならないという分野であり、そのつながりの部分をどうするか。あまり外に発信していくのが得意ではない学生をどのように指導するか。</li> <li>・内面に向いているメンタルの部分は社員等も同じではあるが、コロナ禍でよりその部分が表面化したと思う。その部分を汲み取れないといけない。</li> </ul>	4

基準6 教育環境

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備・機材がかなり重要な学科もある。老朽化している部分もあるのではないかとと思うが、時代に対応して考えていかなくてはならない。</li> <li>・業界では毎年毎年、最新の機材やマシンが出てくる。学校でもそれに併せて対応していかないと、学生が働く際についていけない。予算とロードマップを組んで対応する必要があると思う。</li> <li>・バリアフリー化に関して校舎の敷地等に限度があるので、難しいとは思いますが、学生の怪我等(車椅子が必要になった場合)に対応できるようにしてほしい。</li> <li>・ハイスペックの設備に追いつくのは大変だと思うが、だからこそ常に課題として残るのだと思う。</li> </ul>	3

基準7 学生の募集と受入れ

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変厳しい募集状況だと聞いている。特にコロナの影響により留学生の募集が大変だと予想している。映画校は留学生が非常に多く、そう中どのような対策を検討しているのかを聞きたい。</li> <li>・(留学生募集に関して事務局返答)留学生センターでは日本語学校向けのオンライン説明会や、海外在住の留学生向けのオンライン説明会等に力を入れている。</li> <li>・高等学校の教員や保護者と、業界に近い方との間にある温度差をどのように埋めるかというのが課題かと思う。</li> <li>・一度東放学園のHPを閲覧した際、その後東放学園の広告がWEBでよく出てくるようになった。その部分で力を入れていると感じた。</li> </ul>	4

基準8 財務

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特筆すべきコメントは無し。</li> </ul>	4

基準9 法令等の遵守

コメント	評定
<p>・特筆すべきコメントは無し。</p>	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	評定
<p>・映像文化の人材育成を行う教育機関(学校)としてどういった存在が望ましいのか、すこしずつ考えていかななくてはならない。          ・社会貢献や地域貢献は積極的にアピールすべき。近所の商店街のプロモーションを作ったり、そういったことができれば良い学校だと思える。学生の勉強にもなるのでは。          ・(社会・地域貢献に関して事務局から返答)以前も新宿区から依頼で区の広報ビデオを作成したことなどあり、外からの依頼には可能な限り答えているが、今後地域社会に対して学校を知っていただくために、こちらから発信して地域貢献するということを検討事項としたい。</p>	3

5. 次年度課題と対応

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科に即した理念や目的を設定する必要がある。</li> <li>・就職率100%や中途退学率が数%になるというのは努力しても非常に難しい。しかしながら改善努力は引き続き継続する。</li> <li>・留学生募集等、今後のコロナ感染拡大の状況次第でもあるが課題やリスク対応は多く残っている。</li> <li>・(社会貢献・地域貢献に関して)待ちの姿勢では無く地域や社会に学校をPRしていくことが必要である。</li> <li>・コロナウィルスの感染拡大局面とAfterコロナにおいての、対面授業とオンラインのバランスと意義を検討していく。</li> </ul>
--

以上